

経営比較分析表（令和5年度決算）

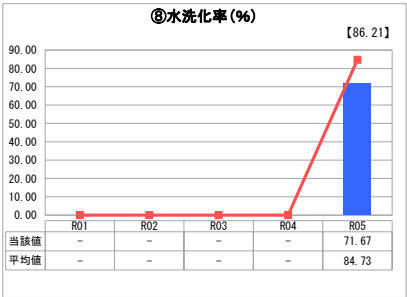
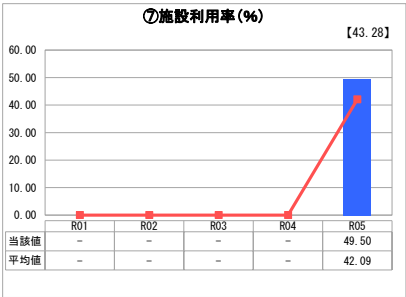
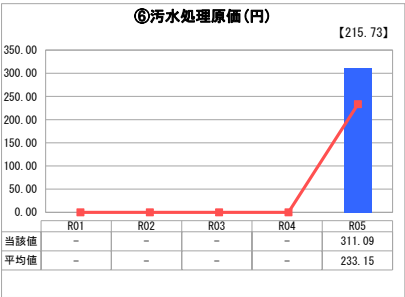
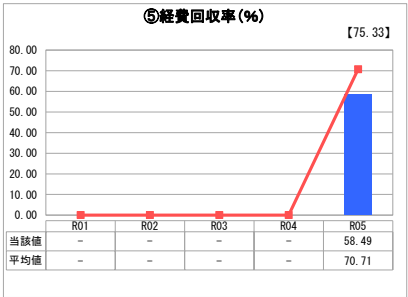
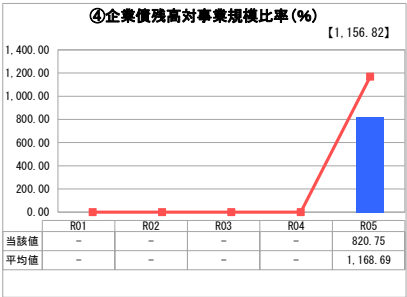
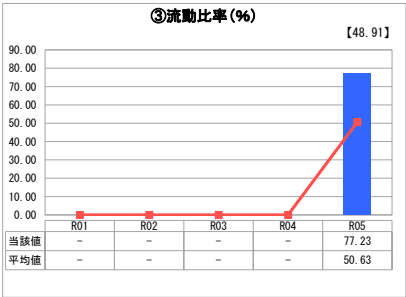
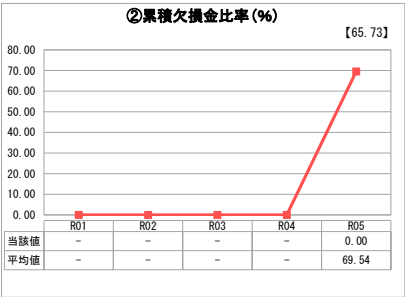
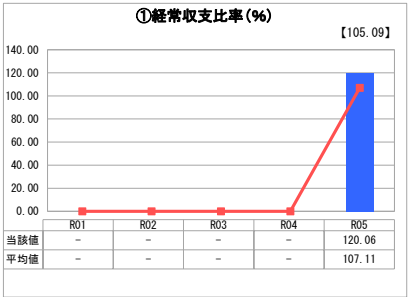
熊本県 和水町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	78.85	18.00	100.00	4,400

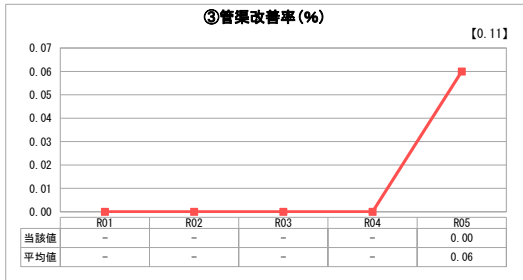
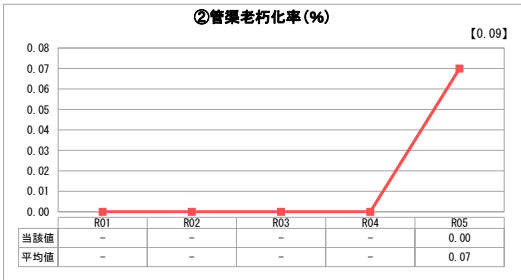
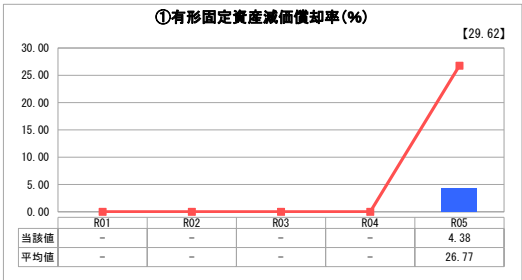
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,104	98.78	92.16
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,631	0.65	2,509.23

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

法適用初年度であり、前年度との比較は一概にはできませんが、収益的収支比率について、100%を超えています。

しかし、経費回収率は平均値より低く、汚水処理原価は平均値より高い傾向にあり、一般会計からの基準外繰入金に頼っている傾向にあります。

また、今後もストックマネジメント計画に基づき、施設の改築・更新を行うため、費用の増大が見込まれます。これにより、企業債からの借入れが増えるため、企業債残高対事業規模比率の増加が見込まれます。

そのため、令和6年度に見直しを行う経営戦略にて料金改定を含めた検討を行う必要があります。

そのほか、必要な点検・補修等の維持管理は継続する必要がありますが、機器の状態を把握し、費用の平準化を図ることに努めます。

処理区域内の人口は、前年度に比べ増加（1,555人→1,631人）していますが、水洗便所設置済人口は、微増（1,167人→1,169人）のため、水洗化率は減少（75.05%→71.63%）しているため、積極的に加入促進を行い、接続件数の増加に努めます。

2. 老朽化の状況について

管渠の敷設からの経過期間は、25年程度あり、現時点では大きな異常は発見されていない状況です。

今後も適切な点検を行い、管渠寿命の延長に努めていきます。

全体総括

現時点では、収益的収支比率は100%を超え、概ね堅調な経営状況ではあるものの、維持管理費の増加や起債償還など、財政的に厳しい状況にあり、施設の設備も更新時期を迎えています。

計画的に更新を進めていくために、令和6年度にストックマネジメント計画を査定し、社会資本整備交付金等の補助金を活用しながら、経営基盤の強化を図ります。

和水町下水道事業は、令和6年度に経営戦略の見直しを行い、その中で料金体系のあり方を再検討する予定です。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。